

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第9号

発行日：平成二〇年二月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会

一宮市小赤見字郷浦五三

（一宮市西成出張所内）

電話：28—9002

キーワードの「連」で一体化

>> 連携・連帯・連続・連絡 <<

西成連区地域づくり協議会は、新年度の事業計画の方向性を決めるために、今までに開催してきた6部会の審議内容や、その経緯を尊重し、どのように反映をさせるべきか模索・検討を重ねています。

これからの予定として、新年度（平成21年度）の事業内容を示すキーワードに、「西成連区の連携」をいっそう強固なものとするため「連」をキーワードと決め、6部会とも今年中を目途に、結論を導き出させていただきます。

来春早々には、6部会の新規事業計画案が提案されたところで、構成団体にもご相談をし、ご意見をいただき、調整を重ねて決定をすることになります。

地域づくりの具体策を絞り込む

地域を生かす事業を各部会で企画・立案

地域住民の自主的な活動を目指す、「西成連区地域づくり協議会」が、各種構成団体のご協力を得て誕生して以来、ただちに各部会が開催され、西成地域の特徴を生かすための審議が重ねられている。

一宮市は従来から連区という優れた仕組みで運営されており、平成の合併で23連区となったなかでの「西成連区地域づくり協議会」は第1号。そのため西成のこの協議会は、全ての他連区から注目をされています。自由な発想で地域を生かす事業の企画立案に、6部会が現状を見極めつつ、意欲的に取り組んでいます。

各部会での審議概要は、次のとおり。

●広報部会（11月11日開催）

全戸配布の本誌（紙媒体）は、しばらくは継続するが、デジタル媒体のHPを早急に開設、ブログを併用して魅力のある情報を提供できるようにしたい。そのためには情報収集が継続的にできる方策を確立することが必要である。

●地域福祉部会（11月14日開催）

①4校下ごとに実施してきた敬老会を、一本化することは難しい。出席者への思いやりが伝わるような、温かみのある行事にしていきたい。②要援護者の把握はできておらず「向こう三軒両隣」のつながり強化策などを次回に検討する。

歳末たすけあい運動 12月1日～25日

歳末たすけあい運動の歴史は昭和27年ころにさかのぼります。はじめは、生活保護を必要とする世帯や施設入所者への見舞金として配分するための募金でした。

その後、住み慣れた地域で暮らしていくために必要な、さまざまなささえあい活動が展開されるようになり、だんだんそれらの活動への募金配分が行われるようになってきました。

年 末

交通安全週間

12月1日～10日

西成連区街頭監視

12月5日